

2018年6月26日

報道各位

応募受付延長！日本最大級のクリエイティブのアワード 「2018 58th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」 4部門の応募受付は7月6日まで

～ マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、
メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門が対象 ～

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟(略称：ACC、東京都港区、理事長：高田坦史)は、日本を代表するクリエイティブを選考する、「2018 58th ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」

(<http://www.acc-awards.com/>) において、マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の4部門の応募受付を、2018年7月6日(金)18時まで延長することといたしました。

※フィルム部門、ラジオCM部門の応募受付は、当初発表通り7月2日(月)18時までです。



作品の応募は、「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにてユーザー登録後、マイページよりご応募いただけます。

入賞作品は、9月27日(木)の記者発表の後、同特設サイトにて全リストを掲出、11月1日(木)の贈賞式・記念パーティにて表彰いたします。

各部門の概要および審査委員紹介など、詳細は下記の通りです。

【スケジュール(予定)】

エントリー期間：2018年6月1日(金)～2018年7月6日(金)18:00

※フィルム部門、ラジオCM部門は7月2日(月)18:00

入賞作品発表：2018年9月27日(木)18:00

贈賞式・記念パーティ：2018年11月1日(木)



【部門構成および参加資格】

■フィルム部門 (<http://www.acc-awards.com/2018fes/film/>)

- ・ A カテゴリー (テレビ CM、地域テレビ CM)

2017年7月1日～2018年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCM。

- ・ B カテゴリー (オンラインフィルム)

2017年7月1日～2018年6月30日までの間に、Web上で公開されている映像広告。
初公開日は問わない。

■ラジオ CM 部門(ラジオ CM、地域ラジオ CM) (<http://www.acc-awards.com/2018fes/radio/>)

2017年7月1日～2018年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCM。

■マーケティング・エフェクティブネス部門 (<http://www.acc-awards.com/2018fes/me/>)

以下のいずれか1つ以上の施策をおこなっていること。

- ・ 2017年7月1日～2018年6月30日の間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局においてテレビCM、またはラジオCMが放送されたキャンペーン施策。
- ・ 2017年7月1日～2018年6月30日の間に、ムービーコンテンツ、サウンドコンテンツをWeb、イベント等で展開したキャンペーン施策。

※継続中のキャンペーンであれば、過去にエントリー歴のあるものも応募が可能です。

ただし、過去にエントリーした際と、「成果」の違いを明確に示してください。

■ブランデッド・コミュニケーション部門 (<http://www.acc-awards.com/2018fes/bc/>)

2017年6月1日～2018年6月30日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたブランデッド・コミュニケーション(広告/キャンペーン/ブランデッド・コンテンツ)が対象。

※2017年6月1日～6月30日の作品は、昨年インタラクティブ部門に応募されていないことが条件です。

※複数の部門、カテゴリーへの応募は可能です。

- ・ A カテゴリー：デジタル・エクスペリエンス

デジタルテクノロジーを活用した表現における卓越したデザインと優れたユーザーエクスペリエンス、クリエイティビティとクラフトマンシップを表彰します。

- ・ B カテゴリー：プロモーション/アクティベーション

商品やサービスの購入や利用に対して、ターゲットの積極性を促すことができた最も新しく創造的なアイデアを表彰します。



・C カテゴリー：PR

適切なメディア戦略とコミュニケーションを通して、ブランドと生活者の間の信頼関係を築き、生活者の意識や態度や行動に影響を与えたプロジェクトを表彰します。

・D カテゴリー：デザイン

ブランドアイデンティティの定義や、ブランドメッセージの認識や理解に強く機能したビジュアル表現のクラフトマンシップとクリエイティブ性を表彰します。

■メディアクリエイティブ部門 (<http://www.acc-awards.com/2018fes/mc/>)

2017年6月1日～2018年6月30日の期間に実施された（放送・出稿など）仕掛けや取り組み。

※2017年6月1日～6月30日に実施されたものについては、昨年応募されていないことが条件です。

■クリエイティブイノベーション部門 (<http://www.acc-awards.com/2018fes/ci/>)

未来を創り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で産み出されたプロダクト&サービスと、プロトタイプ。

※上市または社会実装、ローンチの時期は問いません。昨年エントリーしたものでも応募が可能です。その場合は、従前のものとの違いや差分を明らかにしてください。

【審査委員長】

■フィルム部門：

澤本 嘉光（電通／シニア・プライム・エグゼクティブ・プロフェッショナル、
エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター）

■ラジオ CM 部門

嶋 浩一郎（博報堂ケトル／代表取締役社長）

■マーケティング・エフェクティブネス部門

小和田 みどり（ライオン／コミュニケーションデザイン部 部長）

■ブランデッド・コミュニケーション部門

菅野 薫（電通 CDC、Dentsu Lab Tokyo／
エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター、クリエイティブ・テクノロジスト）

■メディアクリエイティブ部門

小山 薫堂（放送作家／脚本家／京都造形芸術大学副学長）

■クリエイティブイノベーション部門

暦本 純一（東京大学 教授／ソニーコンピュータサイエンス研究所 副所長）



<各部門の審査委員紹介>

URL : <http://www.acc-awards.com/juries2018/>

<「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイト>

URL : <http://www.acc-awards.com/>

<主催：一般社団法人 全日本シーエム放送連盟>

URL : <http://www.acc-cm.or.jp/>

【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催されてきた広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく拡げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、総務大臣賞／ACC グランプリは、クリエイティブにたずさわる人々の大きな目標となっています。

【ACC とは】

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟（ACC）は、よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に公益法人として設立。2013 年に一般社団法人へと移行しました。

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・放送会社の 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく活動しています。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263

www.acc-cm.or.jp

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟 担当：平川